

科目名称	栄養学	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30
担当教員	植田 真知	授業に関わる実務経験	☒ 有（管理栄養士） ☐ 無	

【1】授業概要

栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用、ライフステージ別の適切な栄養管理、病態の理解と、栄養状態の的確な評価に基づく栄養管理について学習する。また日本人の栄養状態は生活環境やライフスタイルの変遷によって新たな問題が生じている現状を認識し人間栄養学の必要性を理解する。

【2】学習目標

1. 栄養学の意義を理解できる。
2. ライフステージ別の栄養管理を理解できる。
3. 病態に応じた栄養状態の評価を理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☐ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	第1章 人間栄養学と看護	講義
2	第2章 栄養素の種類とはたらき	講義
3	第3章 食物の消化 栄養素の吸収・代謝	講義
4	第3章 食物の消化 栄養素の吸収・代謝	講義
5	第4章 エネルギー代謝	講義
6	第5章 食事と食品	講義
7	第6章 栄養ケア・マネジメント	講義
8	第7章 栄養状態の評価・判定	講義
9	第8章 ライフステージと栄養	講義
10	第8章 ライフステージと栄養	講義
11	第9章 臨床栄養	講義
12	第9章 臨床栄養	講義
13	第9章 臨床栄養	講義
14	第10章 健康づくりと食生活	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験、学習への取り組みで総合的に評価する。

【6】教科書

- ・系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能③ 医学書院 2020 第13版
- ・糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 日本糖尿病学会編・文光堂 2018

【7】参考書

- ・必要に応じてプリントを配布

【8】受講生へのメッセージ

この栄養学は看護にも必要な知識です。今後、患者に食事・栄養指導ができるよう、栄養学を学びましょう。